

令和7年度 東京の林業振興に向けた専門懇談会（第2回）

次 第

日 時：令和7年11月5日（水）
14時30分～16時00分
場 所：青梅合同庁舎3階 会議室

1 開会

2 議事

懇談会でのご意見を踏まえた今後の施策の展開について

3 閉会

東京の林業振興に向けた専門懇談会 委員名簿

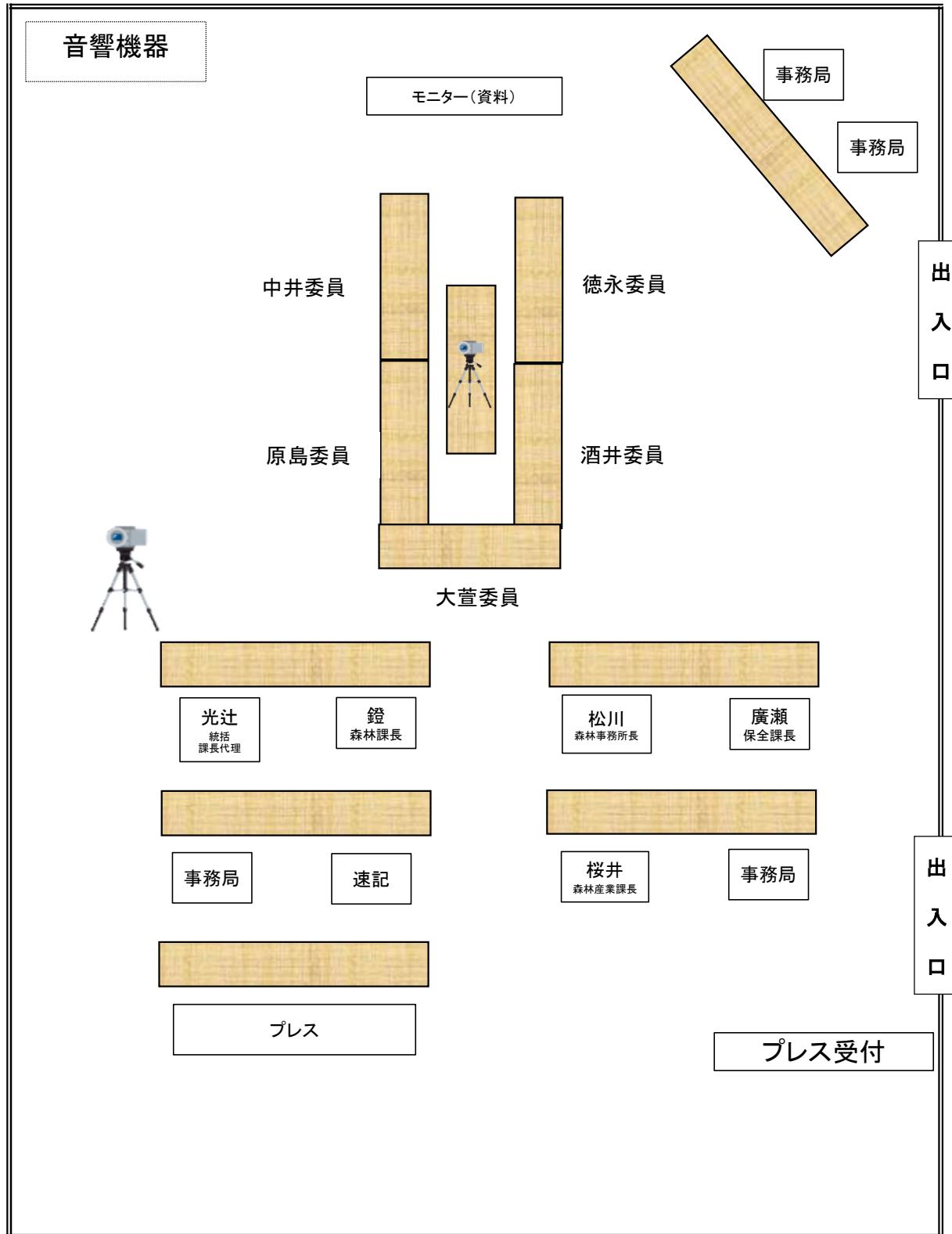
(五十音順・敬称略)

所属等	氏名
一般社団法人 日本森林技術協会 I C T 林業推進室 室長	おおがや なおか 大薗 直花
国立大学法人東京大学 名誉教授 一般社団法人 日本木質バイオマスエネルギー協会 会長	さかい ひでお 酒井 秀夫
国立大学法人東京大学 特任准教授	とくなが ゆか 徳永 友花
青葉組株式会社 代表取締役	なかい しょうたろう 中井 照大郎
岐阜県立森林文化アカデミー 元教授 奥多摩町在住 森林所有者	はらしま みきのり 原島 幹典

東京の林業振興に向けた専門懇談会(第2回) 座席表

令和7年11月5日(水) 14時30分～16時00分

青梅合同庁舎3階 会議室



東京の林業振興に向けた 専門懇談会 (第2回)

令和7年11月5日

林業専門懇談会を踏まえた施策展開の方向性①

分野	新たな人材活用等による林業従事者の育成
委員からの意見	施策の方向性
<p>○労働力の確保</p> <ul style="list-style-type: none">若い林業従事者が多いのが東京の特徴、参入者が定着できるような施策が必要今後、事業拡大が想定される中で現在の人員では対応できない	<p>○労働力の確保</p> <ul style="list-style-type: none">新規就労者を確保するための就業環境整備を支援、新規事業者の参入を促進するための受入体制を強化異業種や都外からの人材獲得の推進特定技能人材の活用可能性の検討
<p>○林業従事者の育成</p> <ul style="list-style-type: none">きつい作業に見合った労働対価がないと続けられない労務管理が重要、柔軟な働き方が労務災害を防ぎモチベーションを向上させる	<p>○林業従事者の育成</p> <ul style="list-style-type: none">労災ゼロに向けた林業従事者の労働安全向上及び雇用改善を総合的にさらなる支援を充実

林業専門懇談会を踏まえた施策展開の方向性②

分野	高性能林業機械の導入加速とロボット開発
委員からの意見	施策の方向性
<p>○高性能林業機械の導入</p> <ul style="list-style-type: none">新規に導入する機械における、オペレーターの早期の技術習得を支援することで、労働災害の減少につなげる <p>○ロボットの開発</p> <ul style="list-style-type: none">ロボットや機械導入により安全性の向上に期待が高まる東京の山は急峻であるため、対応できる林業機械が少ない	<p>○高性能林業機械の導入</p> <ul style="list-style-type: none">遠隔操作等の機能を搭載した機械の導入を支援オペレーター育成を促進するための研修の充実 <p>○ロボットの開発</p> <ul style="list-style-type: none">東京特有の課題に対応できるように既存の林業ロボット等のカスタマイズや技術開発を支援

林業専門懇談会を踏まえた施策展開の方向性③

分野

伐採量の拡大と収益力の強化

委員からの意見

○伐採量の拡大

- ・機械導入には林道が必須だが、**林道整備の優先順位**をつけた計画が重要
- ・既存林道を整備するのと、タワーヤードを活かす**尾根**に新規の林道を通していく**両面での整備**が必要

○収益力の強化

- ・**A材**は多摩木材センターの機能強化、**B材**以下は直送等様々な方法が検討できる
- ・バイオマスは**熱利用**で、公共施設での冷暖房施設など需要サイドの出口戦略が必要

施策の方向性

○伐採量の拡大

- ・伐採量の拡大に向けて重要なインフラである林道の、優先順位をつけた改修や開設の計画を作成
- ・架線集材や機械化に対応できるよう老朽化した橋梁等のボトルネックを解消

○収益力の強化

- ・原木市場のスペース拡大、機械の導入等の効率化
- ・B材以下の有利販売に向けた利活用を幅広く検討

林業専門懇談会を踏まえた施策展開の方向性④

分野	森林の木材利用以外の新たな価値の創出
委員からの意見	施策の方向性
<p>○森林サービスを活用した新たな価値づくり</p> <ul style="list-style-type: none">・ 脱炭素という観点でJクレジットは代表的だが、手続きが煩雑で誰でも簡単にできない状況・ カーボンクレジットだけでなく、生物多様性も絡めて企業に提案・ 森林で自然を作っていくことで企業のニーズに応える取組を支援・ CSRへの意識が高まっている企業が多く、林業の活性化に関する仕組みづくりが必要	<p>○森林サービスを活用した新たな価値づくり</p> <ul style="list-style-type: none">・ 森林整備に貢献したい企業等の資金を活用した取組を促進・ すでに関わっている多様なプレイヤーにおける活動のPRを強化・ 森林のカーボンクレジットや生物多様性等の付加価値を評価する制度・仕組みの構築に向けた検討・ 航空レーザー測量等新しい技術を活用した森林情報の基盤整備を促進